

Case12 (2021.5.10)

70代 女性

主訴: 両橈骨手根関節・両膝関節の痛み

診断名: 関節リウマチ(RA)

関わった医療機関(施設): 大学病院(膠原病内科)、漢方クリニック、鍼灸院

漢方クリニックから鍼灸院へ紹介を受けた関節リウマチ(RA)患者の症例。大学病院での生物学的製剤、漢方クリニックでの漢方処方、鍼灸院での鍼灸施術により血液検査の各数値が正常値に治まり関節痛が減退した症例。

寸評:

医師からの報告によると、この患者は炎症反応が強かったので大学病院を紹介し漢方と組み合わせて治療にあたった。また、関節の痛みが強かったため、鍼灸院を紹介したとの事であった。

他の専門医師は、この患者は間質性肺炎や心膜炎の既往があり、選択しが限られている中での治療で難しい症例であったのではないかとの意見であった。また、関節リウマチは、血液検査と主観的な訴えにギャップがある事が多く、活動性の評価法、血液検査、関節へのエコー検査への解説があった。

鍼灸がある程度の有効性を示すことが伝統的に知られているが、鍼灸院だけで患者の状態を把握する事は難しく、専門の医師との情報共有・連携が望ましいとの意見が多数あった。

鍼灸師からリウマチ性多発筋痛症への鍼灸介入により減薬に貢献できた症例報告に関する話があった。

⁷ 関節リウマチに対する鍼灸治療の果たす役割 — 関節症状の改善とQOL向上について
山本一彦¹⁾ 三村俊英²⁾ 赤尾清剛³⁾ 吉川信⁴⁾ 粕谷大智⁵⁾ 山口智⁶⁾
1) 東京大学医学部 附属病院 アレルギー・リウマチ内科
2) 埼玉医科大学 リウマチ・膠原病科
3) 岐阜大学医学部 附属病院 東洋医学講座
4) 東京女子医科大 附属 東洋医学研究所
5) 東京大学医学部 附属病院 アレルギー・リウマチ 内科
6) 埼玉医科大学 東洋医学科
[ja \(ist.go.jp\)](http://ja.ist.go.jp)

大学の研究者からの意見として、中国の文献や研究だと中医学結合に関するものが多数見受けられるとの事であった。どちらが効くを抽出することは難しいが、合わせると効果があるという研究のやり方もあるのではという意見があった。

総合病院膠原病内科と地域鍼灸院からの患者受け入れへの可能性についてや評価・痛み
のスコアに関して、医師と鍼灸師で共有できるものもあるのではないかという意見があった。

Q,医師に伝えるべき情報がわからない(理学的評価法・現代医学的評価法・伝統医学的評価法等)(鍼灸師)?

A,専門医は数を見ているので、簡単なものだけを伝え任せるのが良いのでは(医師)。

A,臨床の患者情報が重要なものもあるのでいくらでも欲しい。ただ、ある程度のすり合わせは必要かもしれない(医師)。

A,顔の見える先生と見えない先生で伝える情報を変えた方が良いのでは(鍼灸師)。

独立したての鍼灸師からの感想

参加して良かった。RA 症例は2例程度あるが、大変勉強になった。医療連携について知識を深めることが出来た。今後活かして行きたい。